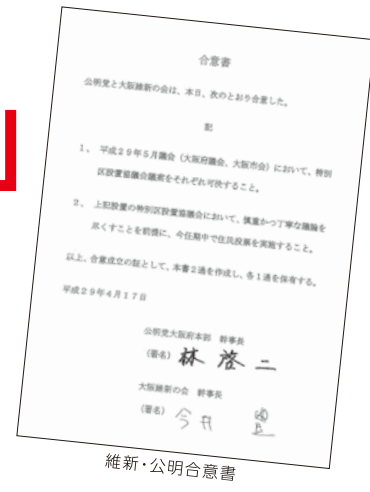


問われているのは **維新**の**密室政治**

中身もやり方も **ボロボロ**大阪都

とんでもない「**密約**」 年末に松井知事が 自ら暴露

「大阪都」を議論する場が「密約」でしか作れなかったことが判明！



ゆきづまる「**法定協**」——ヤジと怒号



議長役の今井府議（維新）による一方的な開催強行と運営で「大混乱」。

「(知事は)最も重要な府民、市民の皆さんの理解が深まったとお考えなのではないでしょうか。大阪市をなくして特別区になると何がかわるのか、住民目線でしっかりと、賛成会派も反対会派も合意したうえで資料を住民の皆さんにお示しできないようでは、**法定協議会の議論を終結することが出来ない。**」(公明党・八重樫委員の発言、第18回法定協・2019年1月11日議事録より)

公明党

またぞろ「**密約**」を迫る維新

「密室政治」にすぎるしかないのが「維新」の実態です。今度は「秋のダブル選挙と住民投票の同時実施」を迫り、「工程表」への作成を要求とか…。

維新

辞任・出直しダブル選挙に「**権力の私物化だ!**」の声

維新は、法定協の強引な運営とともに、知事・市長が辞任して4月にダブル選挙との「脅し」をかけています。しかし、「税金のムダ!」との批判を前にして「タスキ掛け出馬」(松井知事)と言うも、「ロシアみたい」「権力の私物化だ!」との声が沸き起こっています。



「読売新聞」
2月17日付

「大阪都」はきっぱり断念を!

府民・市民は「蚊帳の外」、大阪市をつぶし、「一人の指揮官」でやりたい放題の大阪をつくる、それが「大阪都」です。